

# 審議した主な議案

## 平成16年度一般会計予算

本定例会で市長から提案された予算額は、33億2千67万9千円であり、平成16年第1回定例会に提案された予算案と比較すると16億3千32万1千円の減となっております。

年度当初の原案から予算が減額または削除された歳出の事業が31事業で、新たに追加する事業が15事業となっております。

予算特別委員会では、市長の提案した予算案に対して、武蔵小金井駅南口再開発事業

この議決に対して、市長が

ら政策意思に反し、市民の福祉増進に支障を来すとして、再議書が提出されました。

修正可決された予算は出席議員の3分の2以上の賛成(16人)が得られず、修正可決のとおり決定することは否決されました。

続いて、市長の提出した予算の原案について採決を行い、賛成多数(賛成11・反対9・退席3)で原案可決しました。

また、同日の本会議において、原案可決した平成16年度小金井市一般会計予算に対する付帯決議が5名の議員から提案されました。

内容は、武蔵小金井駅南口再開発事業や東小金井駅北口土地区画整理事業の関連予算等の経費について、議会多数と関係者の理解を得るまで予

算の年度内執行を凍結するよう求める決議であり、賛成多数(賛成22・反対1)で原案可決しました。



予算審議の争点となった武蔵小金井駅南口周辺と東小金井駅北口周辺



数(賛成22・反対1)で原案可決しました。

平成16年度が既に半年を過ぎようとしている。この半年間小金井市一般会計は暫定予算のままという異常な事態で推移してきた。予算審議の争点となっているのは、市長提案の武蔵小金井駅南口再開発と東小金井駅北口土地区画整理の関連予算の内容と議会多数の見解の相違が背景にある。その結果、市民生活に関わる多くの予算に影響を与えている。

よって、小金井市議会は、暫定予算による市民生活への影響を考え、市長に対して、款8土木費、項4都市計画費、

**賛成討論(要旨)**

板倉真也(日本共産党)

市議会多数の意思に反して半年間もの暫定予算が続く中、市民生活にさまざまな影響が生まれている。

よって、大型開発の予算を凍結し、年間予算を通すことで、市民生活への影響を回避するとの判断に至った。

市長は議会の意思を誠実に受け止め、議決に従い予算の執行を中止し、国土交通省に議会の意思を伝えるとともに、予算が凍結されている間に係者と話し合い、計画の見直しを行うよう求める。

**賛成討論(要旨)**

五十嵐京子(改革連合)

3度も一般会計予算が否決され、異常な事態が続いた原因は武蔵小金井駅南口再開発などにある。暫定予算を早く打開し正常な市政へ戻すことが市民への責任を果すことになると考え、断腸の思いでこれら事業の凍結を提案する。

しかし、7月の市長選挙の結果を見ても多くの市民は推進を望んでいることを忘れてはいけない。なお、付帯決議とは予算を通すための条件として出すもので、予算に反対で決議に賛成は論理矛盾である。

## 議会傍聴の受付場所等が変わりました

市議会の傍聴受付は、本庁舎4階で受付を行っていましたが、市民の皆様の利便性の向上のために、平成16年9月13日(月)の委員会から次のとおり変更いたしました。

- 委員会及び全員協議会の傍聴は、3階の委員会室前と4階の議会事務局の2か所で受付を行います。受付時間は当下面表のとおりといたします。
- なお、急遽開催が決定し、ホームページに掲載されていない委員会などは、傍聴受付が本庁舎4階の議会事務局のみの場合があります。

会議の内容	開会予定時刻	受付時間	受付場所
本会議	午前10時	午前8時30分から会議終了まで	4階の議会事務局
委員会及び 全員協議会	午前10時	午前9時30分から午前10時30分まで	3階の委員会室前
		午前8時30分から会議終了まで	4階の議会事務局
	午前10時以外	開会予定時刻の30分前から 開会予定時刻の30分後まで	3階の委員会室前
		午前8時30分から会議終了まで	4階の議会事務局

- 車いすをご利用の方の傍聴については、本庁舎1階の職員に声をかけていただければ、職員がお手伝いさせていただきます。



みんなの意識でゴミ減量を

市では、さまざまなごみ減量施策を行い可燃ごみは減少しましたが、資源ごみや不燃ごみは増加し、ごみ資源の総排出量は横ばいとなっております。このため、市長はごみ減

### 廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例(家庭ごみ有料化の条例改正案)

市では、さまざまなごみ減量施策を行い可燃ごみは減少しましたが、資源ごみや不燃ごみは増加し、ごみ資源の総排出量は横ばいとなっております。このため、市長はごみ減

量には家庭ごみの有料化が有効であると考えて、昨年3月に審議会に諮問しました。13回に及び審議がなされ、有料化を実施すべきであると今年3月に答申が出されました。

条例案の目的としては、減量・資源化の推進、二ツ塚廃棄物広域処分場の延命、処理経費負担の公平化、市民・事業者の意識改革、処理経費の削減などです。

主な内容はこれまでのステーション収集から戸別収集に移行し、ごみを排出するときは、指定収集袋を使用しなければならなくなります。また、正しく排出されていない場合は、回収しなくてよいと審議の途中で議案が訂正されました。可燃ごみ用指定収集袋は特小袋(5リットル)10円、小袋(10リットル)20円、中袋(20リットル)

この条例案を、建設環境委員会に付託し、3回にわたり委員会で審査を行いました。一定量以下無料制及び指定収集袋の販売の2項目は、さらに審査する必要があるとの判断がなされ継続審査としました。

### 教育委員会委員の任命及び固定資産評価審査委員会委員の選任について

教育委員会委員の任命に  
関し、巨理千鶴子氏を再任することに同意しました。

また、任期満了による後



宮崎英勇氏

任として、宮崎英勇氏を固定資産評価審査委員会委員に選任することに同意しました。

平成16年度小金井市一般会計予算に対する付帯決議の採決結果は次のとおりです。

起立採決 原案可決

賛成22(日本共産党3、公明党3、改革連合3、改革21(3)、生活者ネット2)、自民党小金井(2)、民主党(2)、市民の党(2)、湧湧環境ク(1)、市民ウェブ(1)

反対1(市民自治)